



いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

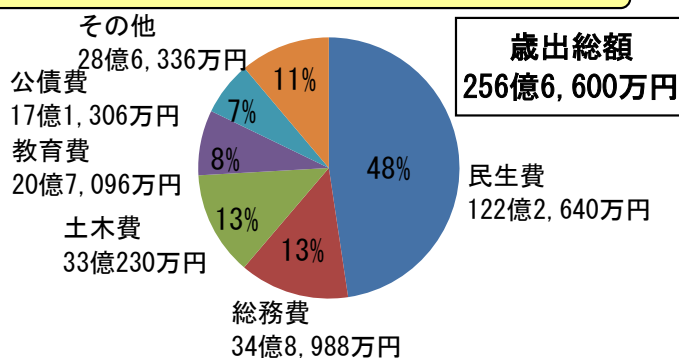
平成30年和光市議会3月定例会報告

2月25日～3月20日の期間で3月定例会が行われ、平成30年度の予算が可決されました。一般家計、特別会計の予算額および一般会計予算歳出の主な内訳については以下の通りです。

平成30年度当初予算(単位：千円)

会計名	平成29年度	平成30年度	増減額
一般会計	24,535,000	25,666,000	1,131,000
国民健康保険	7,976,213	7,113,535	-862,678
後期高齢者	675,565	716,764	41,199
介護保険	3,445,272	3,517,137	71,865
駅北口	1,152,293	909,924	-242,369
総計	37,784,343	37,923,360	139,017

平成30年度一般会計予算【歳出内訳】



平成30年度の主要な施策(市長の施政方針)

都市基盤

- 駅北口高度利用化調査業務
- 和光北インター東部地区のまちづくり支援
- 上谷津公園の整備

教育・文化・交流

- 小中学校全校へのコミュニティ・スクール導入
- 本町小学校に特別支援学級の新設
- 和光市史続編の編さん

保健・福祉・医療

- 統合型地域包括支援センターの設置
- 新設保育園の整備
- 健康マイレージ事業の開始

生活・環境・産業

- 防災倉庫の更新
- 上谷津ふれあいの森用地の一部購入
- 公共施設を活用した「和光ブランド」のPR

3月定例会の主な提出議案(抜粋)

- 和光市国民健康保険税条例の一部改正
前年比5%の引き上げ。平成30年度からの国民健康保険制度改正に対して、新たに3年を1期とする国民健康保険事業計画を策定し、納付金等から負担すべき国民健康保険税必要額を推計し税率を変更するもの。
- 手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定
第二次和光市行政改革推進計画の取組に係る手数料の見直しを実施したことに伴い、その額について必要な改正を行うもの。(例)住民票の写しの交付、印鑑登録証明書の交付：手数料200円→300円
- 和光市介護保険条例の一部改正
対前期比370円増。介護保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い和光市介護保険条例の一部を改正するとともに、第7期介護保険事業計画における介護保険料率の改定に伴い所要の改正を行う。
- 平成29年度埼玉県和光市一般会計補正予算(52,466,000円増額)
 - ・コミュニティ活動支援(20,000円増額)・・・「自治会優待カード事業」について補助金を増額
 - ・朝霞地区周産期医療寄付講座支援事業負担金(2,138,000円減額)・・・派遣医師が減少したため減額
 - ・市外水泳施設利用料助成(120,000円増額)・・・年度当初の利用見込みを上回っていたため増額

いはら陽輔の一般質問の要旨

東京オリンピックのパブリックビューイング

問:東京オリンピックには、和光市にゆかりのある選手の出場が期待され、またメダル獲得も期待されている。大会を盛り上げるとともに、シティプロモーションの観点から、サンアゼリアを活用して、大会競技のパブリックビューイングを実施してはどうか。

答:競歩の荒井選手、アジア・エアガン選手権大会の金メダリストの小西選手、自転車競技の梶原選手と、3名の和光市民の方の活躍が期待され、広報わこう2月号でも紹介させていただいた。ご提案のパブリックビューイングの開催について、大会組織委員会等と調整を図りながら、実現に向けて検討する。

丸山台外環上部空間の活用

問:先の議会では外環上部をバスターミナルとして活用するには荷重の関係で難しいという趣旨の答弁があった。改めてバスターミナルの実現性について伺う。

答:バスターミナルとしての利用については、まず大型車の出入り口の課題がある。そのためバスターミナルの適地としては大変難しい。

シティプロモーション

問:流山市では民間経験者を採用することにより、人口が大幅に増加するなど効果が出ている。プロモーションに関して知識と経験を有する専門家を任期付職員として採用してはどうか。

答:シティプロモーションを有効に推進していくためには、全職員が広報マンとして自覚を持って取り組んでいく必要がある。一方、日常的な活動とは別に、例えばまちづくりの大きな事業が完成する時や、市政の大きな方向転換が行われる際には、和光市の魅力を内外にアピールする絶好の機会であると考え。こうした機会に専門的な知識、経験を有する任期付職員制度を活用することで大きな成果が期待できる。今後、必要とする場面になったら、任期付職員を活用する業務、求める能力、任用方法などについて検討していきたい。

市制50周年のプロモーション

問:2020年に和光市は市制50周年を迎える。他市ではロゴやキャッチフレーズの作成、あるいは動画や歌の作成などを行っている。市はどのような事業を行っているのか伺う。

答:具体的な内容は決まっていないが、市民が和光市に住んでよかった、ずっと住み続けたいと思ってもらえるようなプロモーションの視点を検討する。他市でロゴや動画を作成しているのは承知しているが、他市の状況を参考に、市民と一緒に和光市の魅力を積極的に発信していきたい。

課税データチェック

問:税金や使用料などの誤徴収が発生した場合、市政に対する信用を大きく低下させる。しかし、誤徴収が発生したという報道を見る機会は少なくない。報道を見る限り、人為的なミスが原因のケースが多いが、ミスを防止するための課税データチェックをどのようにしているのか。

答:システムのエラー警告や抽出機能などを使い機械的にエラーチェックを行うほか、複数の職員による読み合わせ、データ入力した職員以外による再チェックなどの作業を行っている。特に、固定資産税ではこれらの作業のほか、3年に1度の評価替え作業では、土地の一筆リストを作成し、市内全筆データのチェックを行っている。

小川町、寄居町、東秩父村との相互交流

問:平成29年度から小川町、寄居町、東秩父村の3町村との相互交流が始まったが、平成29年度はどのような事業を行ったのか伺う。

答:市内小学校の教員が社会科見学候補地として3町村を訪問したり、市民及びロングビュー市からの訪問団が3町村へ訪問するバスツアーなど、和光市から3町村への訪問を重点に置いた事業を実施した。3町村からは市民まつり、アジア・エアガン選手権大会、鍋グランプリなどでイベントブースを出展し、特産物の販売やPRを行った。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

infomation

6月定例会の開催予定

5月31日(木)	開会、提案説明
6月7日(木)	議案に対する質疑
6月8日(金)	総務環境常任委員会
6月11日(月)	文教厚生常任委員
6月12日(火)	市政に対する一般質問
6月13日(水)	市政に対する一般質問
6月14日(木)	市政に対する一般質問
6月15日(金)	市政に対する一般質問
6月19日(火)	委員長報告、討論、採決、閉会

※正式な日程は5月29日(火)の議会運営委員会で決定します。

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行: 和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke